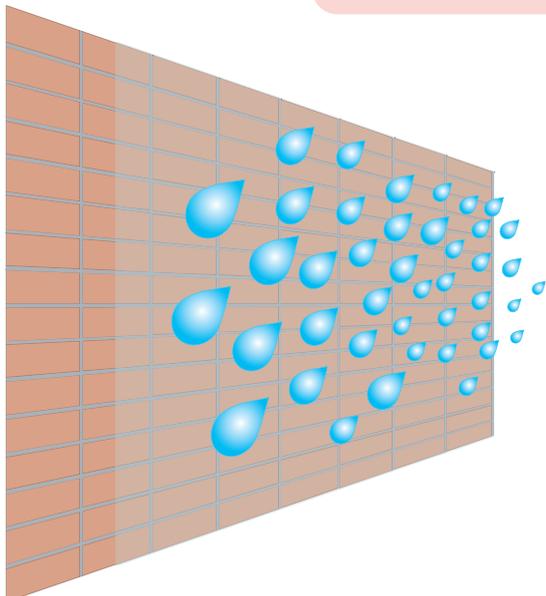




DYFLEX

タイル張り外壁からの雨水の浸入を防ぐ
透明アクリル樹脂エマルジョン

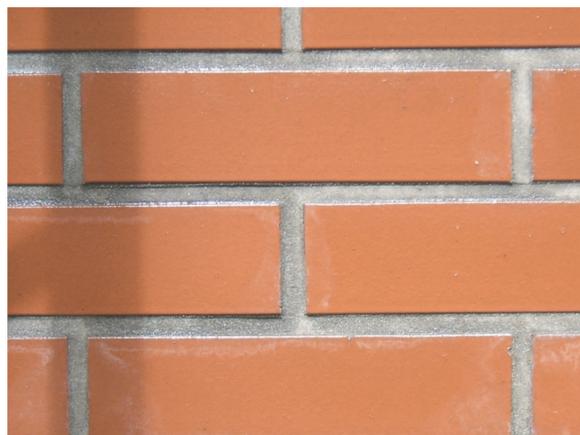
クリアプラス



特徴

- 透明度の高いアクリル樹脂エマルジョンの塗膜でタイルの意匠性を損なわずに外壁からの雨水浸入を防ぎます。
- 撥水剤とは違い、水密性の高い塗膜で建物を水から守ります。
- 仕上げのCPトップは、耐汚染性に優れています。

塗布後



CP-1工法仕様

工程	使用材料		使用量 kg/m ²	塗布方法
1	CPプライマー	アクリルシリコン樹脂 (溶剤系)	0.12	中毛ローラー
2	クリアプラス	アクリル樹脂エマルジョン (水系)	0.15~0.25	
3	クリアプラス	アクリル樹脂エマルジョン (水系)	0.15~0.25	中毛ローラー
4	CPトップ	アクリルシリコン樹脂 (溶剤系)	0.1	
5	CPトップ	アクリルシリコン樹脂 (溶剤系)	0.1	

下地の状態 (目地やタイル形状) により、塗布量に差異が生じることがあります。

使用製品・荷姿

製品名	入れ目	備考
CPプライマー	15kg	主剤9kg：硬化剤6kg
クリアプラス	16kg	16kg
CPトップ（艶有り・半艶有り）	15kg	主剤9kg：硬化剤6kg

基本物性

項目	性状・性能	備考
付着強さ N/mm	2.47	
温冷繰り返し後の付着強さ N/mm	2.02	
粘度 (mPa・s/23℃)	2rpm 2,000,000 20rpm 50,000	BH型粘度計
TI (23℃)	3.5	BH型粘度計
タレ性 (mm)	0	JIS K 5400
引張強さ (N/mm ²)	2.7	JIS A 6021
破断時の伸び率 (%)	250	JIS A 6021
促進耐候性 (2500hr) 光沢保持率 (%)	ひび割れ、剥がれ等異常なし	JIS K 5600 キセノンランプ法

施工・管理上の注意

- ①材料が付着乾燥しますと取れませんので、塗布面周辺の養生を完全に行い、施工時建物の周辺に飛散しないようにして下さい。
- ②水洗後は塗装下地、特に目地部を十分に乾燥させてから次工程に移って下さい。乾燥不十分の場合、ムラ、剥離等の生じる原因となります。
- ③気温5℃以下、湿度80%以上または降雨、降雪、強風の場合は施工を避けて下さい。また、作業後に、降雨・降雪の恐れがある時は雨（雪）養生をして下さい。なお、夜間の気温が氷点下になる恐れがある場合は、午後3時頃までに作業を打ち切るようにして下さい。
- ④施工後24時間以内に降雨、結露等水の影響で変色（白濁）が発生し、壁面に残る場合があります。
- ⑤清水で希釈する場合、希釈量を厳守して下さい。薄め過ぎるときれいに仕上がらないことがあります。特に濃色や下地の吸い込みがない場合等は少なめに希釈して下さい。
- ⑥常に結露が発生する地域・時期での施工は避けて下さい。
- ⑦工程間隔時間は充分取って下さい。
- ⑧安全衛生上の注意事項については、容器の表示も合わせてご参照下さい。
- ⑨材料の保管は気温5～35℃で、密封のまま直射日光を避け、屋内に貯蔵して下さい。長時間貯蔵したものは十分攪拌し、変質の有無を確認して下さい。
- ⑩シーリング材の上に施工する場合は、シーリング材の種類、材質によって汚染するまたは不適合が発生する場合があります。
- ⑪吸い込みの大きいタイル（レンガタイル等）、ラスタータイル（パール調）へ施工する場合は、最寄りの営業所へお問い合わせ下さい。
- ⑫タイル洗浄剤の取扱いには注意し、防護眼鏡やゴム手袋等を使用して下さい。
- ⑬タイル壁面洗浄の際、フッ酸、フッ化アンモニウム系洗浄剤は、仕上材の密着性不良の原因となりますので使用しないで下さい。
- ⑭油污れ・排気ガス汚れ、及び析出・固着したシリカ分やカルシウム分を市販のタイル洗浄剤を用いて洗浄して下さい。タイル洗浄剤の選定に際しては、テスト洗いを行い、タイル表面の傷みや洗浄効果をよく確認してから選定して下さい。
- ⑮タイル張り仕上げ壁面の劣化・破損箇所は、タイル部分張替え工法、目地ひび割れ改修工法、樹脂注入工法、Uカットシール材充填工法、アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法などの工法を適切に選定し、改修して下さい。
- ⑯下地処理で使用するエポキシ注入材や、シーリング材用のプライマーが表面に付着した場合、時間経過と共に変色（黄変・白濁）剥離の原因となるため、溶剤拭きで完全に除去して下さい。
- ⑰CPプライマー、CPトップは、溶剤系材料ですので、火気のあるところでは使用しないで下さい。屋内の取扱作業場には、局所排気装置を設けて下さい。また、塗装に使用する電気機器は防爆仕様にして下さい。取扱いおよび塗装作業の周辺では、静電気や火花が発生する機器、器具等は使用しないで下さい。

安全衛生上の注意

- ①取扱いは、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク、保護メガネ、保護手袋を着用して下さい。
- ②取扱い後は、手洗い及びうがいを充分に行ってください。
- ③子供の手の届かない所に保管して下さい。
- ④作業中・作業後は充分換気を行ってください。
- ⑤廃塗材、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。
- ⑥目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ⑦誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ⑧中身を使い切ってから廃棄して下さい。
- ⑨皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み、または外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
- ⑩臭い、蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

*詳細な内容が必要な場合には、安全データシート(SDS)をご参照下さい。

免責事項：シーカ製品の施工および使用に関する推奨その他の情報は、当社の現時点での知識および経験に拠ったものであり、通常の条件下で当社の推奨に従い適切に保管・処理・施工されることを前提としております。実際には、材料・接着面・現場の条件がそれぞれ異なるため、ここに記載されている情報、書面による推奨その他のアドバイスは、商品性や特定目的への適合性について保証するものではなく、また法的関係に基づく責任を生じさせるものではありません。ユーザーは、シーカ製品がユーザーの意図する施工方法および目的に適しているかどうかを、必ず事前に確認してください。特に、施工、施工管理及び施工に関する報告書の作成はユーザーの責任において行うものであることにご留意ください。当社は、第三者の財産権を尊重し、製品の特性を変更する権利を有します。すべての注文は、当社の最新の販売・納品条件に従って受注します。ユーザーは常に、使用する製品のプラダクトデータシート及び実施する施工方法についての施工要領の最新版をご参照ください。プラダクトデータシート及び実施する施工方法についての施工要領の最新版は、ご請求いただければ当社がご提供いたします。

2023年4月1日よりシーカグループの株式会社ダイフレックスは日本シーカ株式会社に統合され、新たにシーカ・ジャパン株式会社としてスタートいたしました。

製品・工法に関するお問い合わせはホームページのブランドサイト
<https://www.dyflex.co.jp/bousui/>
 にてご確認のうえ各地域のオフィスまでお願い申し上げます。

2024年10月版

(24.10月現在) 24.10.500 SJ